



2024年度

神戸医療産業都市運営委員会  
課題解決型企画提案事業補助金

事業者名

(代表企業・団体)

甲南大学大学院

異分野融合若手研究者の会 実行委員会

事業の名称

異分野融合若手研究者の会を通じた

神戸医療産業都市の認知と産官学協力体制の構築

解決を目指す課題

■ 交流促進

■ 情報発信

■ 人材育成

■ 人材確保

事業実施期間

2024年7月30日～2025年2月28日

実績報告額

338,520円

# 1. 実施内容

- ①第2回異分野融合若手研究者
- ②2024年9月28日
- ③島内外の大学や企業の方に参加いただき、研究会を実施した。  
 詳細なタイムスケジュールは右の通り。  
 参加者数及び、内訳は以下の通り。

- 参加者数：95名  
 （学生74名、教員等9名（13校）※甲南大学含  
 企業12名（7社））

## 【内訳】

- ・口頭発表：21件
- ・ポスター発表：41件
- ・企業ブース出展：7件（社）

昼食時にはお弁当を参加者に無料配布（当該補助金の範囲外）  
 座席をランダムに振り分けることで若手研究者同士の交流を行い  
 やすい環境を作った。さらに、ポスター発表とは別個に自由討論の  
 時間を設けることで交流の活発化も図った。

8	8:30-9:00	受付
9	9:00-9:05	開会あいさつ
	9:05-10:20	口頭発表1 計算科学セッション 座長:張 伯聞・辰巳 賢太
10	10:20-10:30	休憩
11	10:30-11:45	口頭発表2 孤独の研究者 ～一人で進める学びの旅～ 座長:吉田 秀平・田中 進太郎
	11:45-12:05	企業アピールスピーチ 座長:李 麗暉
12	12:05-13:00	ランチョンディスカッション ※昼食は本会にてご用意します。
13	13:00-14:30	ポスター発表 13:00-13:30 グループA 13:30-14:00 グループB 14:00-14:30 グループC
14	14:30-15:00	企業ブース
15	15:00-16:15	口頭発表3 土曜劇場 GENE -仁- 座長:橋本 佳樹・秋田 智香
16	16:15-16:45	企業ブース for Ph. D. students / 自由討論
17	16:45-18:15	口頭発表4 花ざかりの研究たちへ ～ジッケン🍷パラダイス～ 座長:上田 菜摘美・取井 猛流
18	18:15-18:30	総会・表彰式・閉会のあいさつ
	18:30-	交流会

# 1. 実施内容

来年度以降の参加者を増やすための広報材料をつくるために研究会の風景をカメラマンに撮影していただいた。現在、[異分野融合若手研究者の会HP](#)と[大学HP](#)にて公開しており、今後はSNSでの発信も検討している。



参加者全員の集合写真



口頭発表の様子



ポスター発表の様子

撮影：Yoshinori Nakata

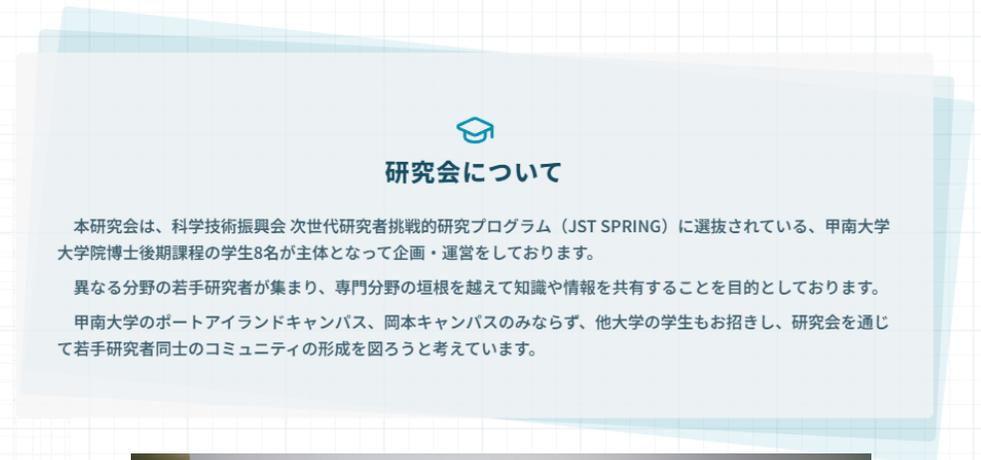
# 1. 実施内容

先述のように開催後に来年度以降の参加者を増やすため、HPを整備した。

<https://konan-ibunya-wakate.vercel.app/>



これまでの研究会の報告だけでなく、  
次回の募集や案内は順次このHPから発信する。



実行委員のメンバー

## 2.効果測定の結果概要と次年度以降の活動に向けた検証結果

第2回異分野融合若手研究者の会の実施結果を総括し、参加者・企業ブース出展社へのアンケート結果をもとに、今後の課題と改善点を整理した。

### (1) 参加者アンケート結果

- 研究会参加の準備のしやすさ：64.3%が満足と回答。  
→要旨作成の負担軽減や早期の発表形式通知が求められる。
- 飲食の提供：89.3%が満足と回答。  
→飲み物の選択肢や昼食の充実度が好評。
- 発表の内容・時間配分：78.6%が満足と回答。  
→ポスター発表の時間拡充、異分野間での理解を促進する工夫が必要。
- 企業展示の評価：64.3%が満足と回答。  
→企業ブース訪問時間の確保と会場レイアウトの工夫が求められる。

### (2) 企業ブース出展社アンケート結果

- 研究会の総合評価：71.5%が満足。
- 学生の雰囲気：100%が良好と評価。
- 企業ブース訪問数：57.1%が想定通り。  
→発表時間と企業訪問時間のバランス調整が課題。
- 人材発掘：42.9%が適した学生と出会えたと回答。  
→訪問時間を適切に確保することで改善の余地あり。

## 2.効果測定の結果概要と次年度以降の活動に向けた検証結果

### 今後の課題と改善点

- 参加登録の容易化  
→ホームページの開設、過去の実績公開で新規参加者を増やす。
- 発表時間の最適化  
→ポスター発表の時間を拡充し、異分野間の交流を促進。
- 企業ブース訪問の改善  
→発表と企業ブース訪問の時間配分を調整し、交流機会を増やす。
- 情報発信の強化  
→参加者への事前通知を徹底し、準備の負担を軽減。

本研究会は若手研究者の交流と異分野融合を目的としており、参加者の満足度向上と双方向の意見交換を促進することが次回開催に向けた重要な課題となる。以上の点を踏まえ、今後の運営改善を進めていく。